

政策会議 議事概要

- 1 日時 令和4年6月2日(木) 14時45分～15時30分
- 2 場所 第一会議室
- 3 出席者 (構成員) 市長、大木副市長、川口副市長、峯村総務局長、神崎総合政策局長、山元財政局長、山田総務局次長、堺総合政策部長
(付議局) 松戸環境局長、足立資源循環部長、奥野廃棄物施設整備課長
(事務局) 江寺政策調整課長、金山政策調整課長補佐、河村主査、西迫主任主事
- 4 議題 北谷津の森・新清掃工場周辺整備基本構想
～自然体験と環境学習の融合～(案)について 【方針決定】(環境局)

5 会議経過

【決定事項】

新清掃工場建設に係る北谷津の森・新清掃工場周辺整備基本構想～自然体験と環境学習の融合～(案)について決定する。

環境局長、資源循環部長 ～資料に沿って説明～

(質問・意見等)

- 神崎総合政策局長 北谷津自治会の関係者との懇談において、温水プール跡地となるところについて、活用に関する意見があることがわかっているが、今後、どのように対応するのか。
また、地域の景観面と周辺の回遊性に関し、大きな課題がある。
景観面としては、事業者サイドでは、区域内で様々な工夫、例えば、施設の配置等の工夫ができるが、この区域外では、交差点の改良も含め、景観や地域資源等を結びつける回遊性を出すための道路作り・歩道づくりといったところは市の役割となる。建設局と調整し、検討していただきたい。
- 松戸環境局長 温水プール跡地の利用について、地元には何らかの意向があることは認識している。具体的にはロータリー等の検討ができないかという意見であるが、エリア全体にとって最適な活用方法を検討する組織を、地元の方も交えながら作り、検討していきたい。
- 神崎総合政策局長 新たな事業区域に必要な以上に車を進入させないために、駐車場は必須である。駐車場と何かを組み合わせるということについて、検討の余地がある。
場合によっては、今、全てを決めなくても、例えば民間事業者2社が進出をして、地域に賑わいが出てきた段階で、第2期の事業として、駐車場の一角に民間活力を導入することを検討してもよいと思う。
例えば、駐車場と相性の良いのはカフェや物販であり、最近ではミクストランという言葉があり、カフェと異業種を組み合わせる事業展開する手法も取

り入れられているので、このようなことも検討していただきたい。
利用者目線で北谷津ならではの魅力をさらに高めていく工夫が必要である。
余熱利用施設のプールに関して、温浴機能に注目している。
大規模な温浴施設の整備には多額の費用がかかってしまうが、温水プールに
相性の良い機能の導入として、採暖室があり、サウナのようなものだが、余
熱利用の仕方として検討の余地がある。
アウトドアの利用者のニーズを考えると、小規模な温浴施設はあってもいい
と思われる。
環境学習拠点の機能を果たしていく上で、余熱利用以外の環境対策、或いは
脱炭素への取組みを想定しているのか。

松戸環境局長

余熱利用以外の環境対策について、意向を示している企業との連携も必要で
ある。

オートキャンプやマウンテンバイクの施設において、脱炭素の要素を取り入
れ、特色のある取組みができないだろうかと考えている。

具体的にキャンプ場では、受付棟の屋根に再生可能エネルギーである太陽光
パネルを設置したり、バイオマスの活用もできる余地があると考えている。
具体的な取組みについては、今後、民間事業者に市のコンセプトを伝えなが
ら、アイデアを出した上で、実現可能なものについて検討していきたい。

神崎総合政策
局長

ぜひ最先端で、他がやっていない環境対策を事業者と一緒に考え、ここで展
開していただきたいと思う。

峯村総務局長

これまでの検討において、災害時の協定についての意見があったと思うが、
災害時には温浴機能が役立つのではないかと思う。大規模停電時でも使用
可能な温浴機能があることは災害対策として非常に興味深いので、検討をお
願いたい。

また、それぞれの施設に設置するトイレについて、防災拠点という視点での
整備を進めると、この事業が地元だけでなく、若葉区のため、市のための施
設でもあるという説明がしやすくなるのではないか。

市長

土地は買い取るのか。

松戸環境局長

事業者が直接、賃貸契約することを想定している。

市長

資料の表に用地借上げ20年間とあるが、これが民間事業者の負担になるとい
うことか。

奥野廃棄物

資料では市で借りた場合のコストとして計上している。

施設整備課長

民間事業者が直接、地権者から借りることになれば、この金額は0円となる。

市長

決まってないということか。

また、温水プールは既存の建替えのため、新規の投資に含まないというの
は、どういう意味なのか。

松戸環境局長

建替えとなる温水プール以外の新たに整備する施設を、今回の地域活性化事
業とするという意味である。

市長

プールの建替え費用は別にあるということか。

松戸環境局長

その通りである。

市長

この基本構想の実現は、地元の要望に沿ったものと考えてよいか。

足立資源循環部長 そう考えている。

市長 清掃工場を再び長期間受け入れていただくための特別な地域振興策としてではなく、環境学習拠点を新規に作るということを対外的に打ち出していくということか。

足立資源循環部長 千葉市として、環境都市を目指していく中で、この北谷津地域を環境先進地域であるとアピールしていきたいと考えている。

市長 そのためには、環境学習拠点は極めて重要であることをしっかり説明する必要がある。相当、先端的なことを導入していかないと中途半端な形になってしまうので、検討を深めていただきたい。

また、環境学習拠点とのことだが、整備する場所ごとに、それぞれ関係するものを集めてるような印象であり、これでは拠点と呼べない。

環境学習拠点は誰が運営するのか。

松戸環境局長 現在のところ、個々の施設での取組みという形になっているが、エリアマネジメントとして、市も参加し、拠点づくりにおいて、どういうことをすることができるのかということを経営者と共に議論しないといけない。

市長 エリアマネジメントにおいては、どこかが中心となり、役割を担って推進していく形にしないと、誰もやらなくなる。

この事業の政策的な意義を伝えるにあたり、取組みをかなり強化していかないと、説明と実態が異なってしまう。より環境面の取組みを補強しないと厳しい。

統一感を持って実施できる仕組みをはっきり書かないといけない。

神崎総合政策局長 環境学習部会においても同じ議論が出た。

これまでの環境学習ではゴミはゴミ、自然保護は自然保護と、事業ごとに展開していたが、北谷津地域には清掃工場や谷津田など、環境学習の素材が多くある。そこに着目して環境学習の拠点ができないかという検討を行った。

この流れから、総合的な環境学習のセンターを作ることも考えた。

直営か、NPO等の委託か、様々な方法があるが、連携をしっかりとれて、様々な環境学習ツールを提供できる場所を目指していきたい。

松戸環境局長 先ほど、民有地の賃借は、事業者か市かという質問があったと思うが、資料とは齟齬が生じているが、事業者に直接、賃借してもらおうと考えている。

市長 今後のスケジュールを教えてください。

足立資源循環部長 まず地元自治会の中心の方々に説明に入り、その後、自治会に対して、説明会を開催することを考えている。

市長 それでは、様々な意見があったが、検討を深めていくものとして、この案で方針決定し、地元説明を実施していくものとする。

— 結果 —

会議での意見等に対応することを前提に方針決定とする。

7 照会先

- ・会議の運営について

総合政策局総合政策部政策調整課

TEL 043-245-5056

- ・議題について

環境局資源循環部廃棄物施設整備課

TEL 043-245-5242